

## DSO参加機関 イベントのご案内

### ■岡山大学：

### おかやまサイエンス・トーク&トライアル 2021 on-line

岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室では、将来を担う中学生・高校生に研究者と接しながら、学問や最先端の研究内容を身近に感じ、科学に対する興味を持ってもらうことを目的として「おかやまサイエンストーク&トライアル」を毎年開催しています。

昨年度引き続き、今年度もオンラインで開催しますので、中学生、高校生皆さんのご参加をお待ちしております。



【主催】岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室

2021 on-line

おかやま  
**サイエンストーク  
&  
トライアル**

高校生も  
大歓迎!

【参加対象】  
中学生・保護者  
学校の先生等

中学生の皆さん！文理選択の参考におもしろさを体験してみませんか？  
昨年度に引き続き、岡山大学男女共同参画室主催の「サイエンストーク&トライアル」をオンラインで開催  
します。サイエンストーク&トライアルでは、実験の様子を動画で配信。  
さらに今年もサイエンス・ライブとして、本学の先生方によるトークイベントをライブ配信します。  
「文系・理系の選択は、どうやって決めたいの？」「将来の夢はまだ決まらないのだけど・・・」など  
不安に思っていることや聞いてみたいことを直接質問してみましょう！

1 サイエンストーク&トライアル  
2021年8月2日(月)9時 配信開始  
電磁調理器をちょっとだけ深掘り！  
-電磁波もいずれecoに?-

2 サイエンス・ライブ  
2021年8月7日(土)13時~14時  
教えて！博士！-大学の先生に聞いてみよう！-

参加費  
無料

事前登録必要

国立大学法人 岡山大学  
ダイバーシティ推進本部 男女共同参画室

086-251-7011  
sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp

#### (1) サイエンストーク&トライアル (動画視聴)

【登録者限定動画配信】

「電磁調理器をちょっとだけ深掘り！  
-電磁波もいずれecoに?-」

配信期間：2021年8月2日(月)~8月10日(火)

動画時間：20分程度

#### (2) サイエンス・ライブ (ライブ配信)

【登録者限定動画配信】

「教えて！博士！  
-大学の先生に聞いてみよう！-

ライブ配信日時：2021年8月7日(土)

13時~14時

※サイエンス・ライブでは、講師の先生方への  
質問を受付中です(当日、可能な限りお答え  
します)。

【参加費用】無料

【対象者】中学生、高校生、保護者、学校の先生方 等

【申込締切】2021年8月3日(火)

【詳細】<https://www.okayama-u-diversity.jp/event/science-talk-trial/information>

申込フォームはこちら → <https://www.okayama-u-diversity.jp/form/7109/?preview=true>

【開催機関】国立大学法人岡山大学 ダイバーシティ推進本部男女共同参画室

【問合先】ダイバーシティ推進本部男女共同参画室 メール：sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp

【対象】全国の中学生・高校生・保護者・学校の先生等 / DSO参加機関以外の方も参加可


## DSO参加機関 イベントのご案内

### ■筑波大学：

#### リケジョサイエンスフォーラムーonline-

「サイエンスフォーラム」では、筑波大学 大学院に在籍する先輩たちが取り組んでいる研究や、研究の魅力を紹介します。

- 【日時】 2021年8月23日（月） 13：30—15：30
- 【行事名】 女子中高生の理工系分野進路選択支援プログラム
- 【場所】 オンライン（ZOOM）
- 【開催機関】 つくば市・筑波大学
- 【関連情報】 [https://diversity.tsukuba.ac.jp/?page\\_id=22490](https://diversity.tsukuba.ac.jp/?page_id=22490)
- 【問合せ先】 diversity@un.tsukuba.ac.jp  
029-853-8504
- 【対象】 女子中高生・女子高校生
- 【申込方法】 google form  
<https://forms.gle/GGae3xNqqAw7D1v97>



つくば市 筑波大学 2021年度女子中高生の理工系進路選択支援プログラム

**リケジョサイエンスフォーラムーONLINE-**

「理系に進みたい!」「文系、理系で迷っている」「理科の授業が好き」

「サイエンスフォーラム」では、筑波大学 大学院に在籍する理系の先輩たちが取り組んでいる研究や、研究の魅力を紹介し、理系に興味のある中学生・高校生のみさまのご参加をお待ちしています!

【開催日】 8月23日(月)

【時間】 13時30分～15時30分

【場所】 オンライン(ZOOM)

【参加対象】 女子中学生・高校生  
※戸籍上の性別は問いません

【参加費】 無料

【申込】 8月2日までにQRコードから申し込んでください  
※参加上限80名(先着順)

【タイムテーブル】

- 13:30 - 開会の挨拶
- 13:40 - 研究発表  
※聞きたい研究を3つを選んでね
- 14:30 - 休憩
- 14:40 - 交流会
- 15:20 - 閉会の挨拶

【イベントに関する問い合わせ先】  
国立大学法人筑波大学  
ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター  
TEL：029-853-8504  
E-mail：rikejo@un.tsukuba.ac.jp

<https://forms.gle/vwHFE9kMCAN8TYv6>

### ■筑波大学、日本IBM、産業総合技術研究所：女性研究者・技術者異業種交流会

前線で活躍される女性研究者・技術者の方々の取組を共有する交流会です。

- 【日時】 2021年8月30日（月） 13：30—15：30
- 【行事名】 女性研究者・技術者異業種交流会
- 【場所】 オンライン（ZOOM）
- 【開催機関】 筑波大学、日本IBM、産業総合技術研究所
- 【関連情報】 [https://diversity.tsukuba.ac.jp/?page\\_id=22513](https://diversity.tsukuba.ac.jp/?page_id=22513)
- 【問合せ先】 diversity@un.tsukuba.ac.jp  
029-853-8504
- 【対象】 DSO参加機関以外も対象  
(性別問わずご参加いただけます)
- 【申込方法】 google form  
<https://forms.gle/oHCw57m2tiLCwdot6>



【主催】 筑波大学・日本IBM・産業総合技術研究所

**TIDE Women's Award 2021**

女性研究者・技術者 異業種交流会

前線で活躍される女性研究者・技術者の方々の取組を共有する交流会です

日時 2021/8/30(月) 13時30分～15時30分

場所 オンライン(ZOOM)

参加対象 どなたも参加できます  
※発表者は筑波大、日本IBM、産総研、つくば女性研究者支援協議会加盟機関に所属する女性研究者・技術者に限ります。

発表者の方も募集しています!

当日プログラム

- 13:30- 開会の挨拶
- 13:40- 参加者による発表  
今年のテーマ「コロナ禍で変わったこと～私のニューノーマル」
- 14:50- 交流会
- 15:20- TIDE Women's Award 表彰者の発表
- 15:25- 閉会の挨拶

申込はQRコードか下のURLから8/25までにお願いします

<https://forms.gle/vxwms7kSpCnolF7>

筑波大学・日本IBM・産業総合技術研究所では、女性研究者・技術者のキャリアを応援するダイバーシティプロジェクト「TIDE(Tsukuba Advancing Initiatives for Diversity and Environment)」を推進しています。2018年から、仕事と個人生活の両方に責任的に関わり進む女性研究者・技術者を表彰する「TIDE Women's Award」を設置し、異業種交流会の発表者から表彰者を決定しています。

【異業種交流会に関する問い合わせ先】  
筑波大学 ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター  
TEL：029-853-8504 E-mail：diversity@un.tsukuba.ac.jp

## イベント開催報告

### ■森林研究・整備機構 森林総合研究所： 男女共同参画週間展示・見学会報告

【日 時】2021年6月23日（水）～29日（火）

【行事名】男女共同参画週間

【題 名】女だから、男だから、ではなく、私だから、の時代へ。  
（内閣府男女共同参画推進本部キャッチフレーズ）

【場 所】森林総合研究所（つくば）正面玄関ならびに一時預り保育室

内閣府によって定められた男女共同参画週間の取組として、森林機構 森林総合研究所では、例年どおりパネル展示と保育室の見学会を行いました。研究所正面玄関のロビーには「なるほどジェンダー」をテーマとした企画パネルのほか、オリジナルポスターなどを展示し、一週間の開催期間中に所内外から多数の方々に見ていただきました（写真1）。また、25日（金）の昼休みには恒例の一時預り保育室「どんぐりるーむ」の見学会を実施し、20名ほどの所内職員の参加がありました（写真2）。

今年も多くの職員が展示ならびに見学会を訪れ、機構内のダイバーシティ推進をアピールできたかと思います。なお、詳細については森林総研ダイバーシティ推進室のウェブサイト（下記）をご覧ください。

<https://www.ffpri.affrc.go.jp/geneq/index.html>



（写真1）正面玄関前の展示



（写真2）保育室の見学会



## セミナー参加報告

農業・食品産業技術総合研究機構ダイバーシティ推進室のセミナー参加報告記事をご紹介します。

### ■厚生労働省委託事業「イクメンプロジェクト」： 企業・団体向け 男性育児休業取得促進オンラインセミナー

【日時】2021年7月6日（火）13:00 - 14:00

【参加方法】Zoomによるオンライン開催

※当日の配信映像と投影資料は、下記のイクメンプロジェクト公式HPに掲載されます。

<https://ikumen-project.mhlw.go.jp/>

【内容】育児・介護休業法が改正されたことを受け、男性の育児休業取得の促進について解説。

#### 第一部 「改正育児・介護休業法の概要」

担当：佐藤 俊 厚生労働省雇用環境・均等局職業生活両立課長

#### 第二部 「企業・団体が留意すべきポイント」

講師：イクメンプロジェクト推進委員会委員

駒崎 弘樹氏 認定NPO法人フローレンス代表理事

小室 淑恵氏（株）ワーク・ライフバランス代表取締役社長

佐藤 俊 厚生労働省雇用環境・均等局職業生活両立課長

厚生労働省の委託事業「イクメンプロジェクト」による「企業・団体向け 男性育児休業取得促進オンラインセミナー」に参加しました。6月9日に育児・介護休業法の改正が公布されたことを受け、法改正の概要説明と男性の育児休業取得を促進するための方策について解説がありました。

第一部は、厚労省の佐藤氏から今回の法改正のポイントについて説明がありました。詳細は割愛しますが、今回の法改正は企業・団体における就業規則の整備を必要とする改正であると明言されていました。改正法の施行期日は、育児・介護休業法に関する部分が公布日から1年6月以内、育児休業の取得状況の公表に関する部分が令和5年4月1日と定められていますので、早めの準備が必要です。

第二部は、ワーク・ライフバランス社の小室氏から「男性の育児休業：企業内で定着させるには」というタイトルの講演があり、男性の育児休業取得を企業内で促進するための方策、とくに経営トップの意識改革を図る方策について解説がありました。

経営トップに男性育休の重要性を伝えるためには、夫婦における家事・育児時間の差など、夫婦間のパワーバランスの話をして無駄、という指摘がありました。有効なのは、産後うつによる死亡や児童虐待など、妻と子の命がかかっている話として伝えることだそうです。

(次頁へ続く)



**企業・団体向け** 7月6日(火)開催  
参加無料 定員1000名

### 男性育児休業取得促進オンラインセミナー

厚生労働省の委託事業「イクメンプロジェクト」では、育児・介護休業法が改正されたことを受け、男性の育児休業取得の促進について解説するセミナーをオンラインで開催します。

第一部	<b>改正育児・介護休業法の概要</b> 法改正の概要を、厚生労働省から説明します。 【担当】 佐藤 俊 雇用環境・均等局職業生活両立課長
第二部	<b>企業・団体が留意すべきポイント</b> 今回の法改正がもたらす社会的影響や、企業を取り巻く環境がどのように変化するかなどについて、イクメンプロジェクト推進委員会委員と共に解説します。 【講師】 イクメンプロジェクト推進委員会委員 駒崎 弘樹氏 認定NPO法人フローレンス代表理事 小室 淑恵氏 (株)ワーク・ライフバランス代表取締役社長 佐藤 俊 雇用環境・均等局職業生活両立課長
開催日時	2021年7月6日(火) 13:00~14:00
参加方法	Zoomによるオンライン開催 (参加無料) 6月29日(火)までにイクメンプロジェクト公式サイトからお申し込みください。※先着1000名 <a href="https://ikumen-project.mhlw.go.jp/seminar/">https://ikumen-project.mhlw.go.jp/seminar/</a> ※当日の配信映像はアーカイブ化し、イクメンプロジェクト公式HPに掲載します。
参加対象	人事労務担当者・経営者、男性の育児休業に関心のある一般の方であればどなたでもご参加できます。

【お問い合わせ先 (厚生労働省委託事業)】  
イクメンプロジェクト セミナー事務局 E-mail: [seminar-info@ikumen-project.jp](mailto:seminar-info@ikumen-project.jp)

厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

(前頁からの続き)

実際に、産後の妻の死因のトップは産後うつによる自殺であること、産後うつが発症するピークが産後2週から1か月にかけてであり、この時期に夫が育児休業を取得することが児童虐待防止の観点からも推奨されると説明されました。さらには、第1子の育児に夫が長時間参画するほど第2子以降が生まれやすいこと、産後すぐの育児参画の有無がその後の妻の夫に対する愛情に影響することが紹介され、少子化や老後へと話が広がっていきました。この展開は説得力があり、まさに目から鱗の話でした。



次に、男性が育児休業の取得を断念する原因として直属の上司によるパタハラがあること、2017年の日本生産性本部の調査では男性新入社員の8割が育休取得を希望していることが紹介され、コンプライアンスや人材獲得の観点からも育児休業を取得しやすい職場環境を醸成する必要があると解説されました。また、男性育休取得によるメリットや働き方改革による属人化（特定の社員が担当している業務が、当人以外では分からなくなっている状態）の解消、男性育休取得の促進による会社のブランディングといった観点も紹介され、経営トップの心に刺さるような素材が巧みに盛り込まれている講演であるという印象を受けました。

続いて、NPO法人フローレンスの駒崎氏の進行の下、参加者からの質問に小室氏と佐藤氏が答える時間が設けられました。参加者からの質問は、誰が休んでも回る職場づくり、育休取得を言い出しやすい職場の雰囲気づくり、男性の育休時の過ごし方、妊娠・出産の申出をした労働者に対する周知方法、パタハラ対策など多岐にわたりましたが、ここでの紹介は割愛させていただきます。後日、配信映像がイクメンプロジェクトの公式HP（冒頭のURLを参照）に掲載されるそうですので、興味のある方はそちらをご覧ください。

今回のセミナーに参加して個人的にとっても重要と感じたのは、今回の法改正により常時雇用労働者数が1,000人超の事業主に育児休業の取得状況の公表が義務付けられることです。この公表により、男性育休取得の促進による会社のブランディングや優秀な人材の獲得といった観点が実際に駆動する道が開かれます。今回の法改正により、男性の育児休業取得が飛躍的に促進されることを願ってやみません。

(農研機構 ダイバーシティ推進室 池田浩明)

## ■ ■ ■ ニュースレターへ記事をご投稿ください! ■ ■ ■

「DSO News Letter」は各DSO参加機関へ、それぞれで働く方へ、また広く外部に向けて情報発信するツールとして原則毎月最終週に発行しております。

掲載を希望する記事がありましたら、数行の記事でも結構ですのでぜひお寄せください。

記事の宛先：DSO事務局（農研機構） [f-support@ml.affrc.go.jp](mailto:f-support@ml.affrc.go.jp)